

科目名	音楽科教育法 I C	形態	講義	開講期	春学期
担当教員	吉川 範行	単位	2	年次	2

＝授業科目の目標＝

音楽科教育を学ぶ上で必要な事柄「目標、教材、学習活動の組み立て、手立て、評価」を構造的に理解し、授業での具体的指導を工夫することができる。音楽科学習指導案を確かな考え方に基づいて、作成することができる。

＝履修の条件と学習の方法＝

音楽教師を目指す強い意志と意欲をもって履修すること。積極的に自分の考えを述べ、意見交換を通して、音楽の授業に対する考え方や方法を着実に自分のものにする取り組みを重ねること。

講義、ディスカッション、学習指導案の作成及びその検討を中心として行う。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。音楽科学習指導案の様式と書き方
- 2回 音楽科教育の役割と課題、音楽を教えることと子供を育てること
- 3回 学習指導要領における音楽科の目標
- 4回 学習指導要領における音楽科の内容 1
- 5回 学習指導要領における音楽科の内容 2
- 6回 教材研究のポイント 1
- 7回 教材研究のポイント 2
- 8回 学習指導案の作成について 1
- 9回 学習指導案の作成について 2
- 10回 学習指導案検討 1
- 11回 学習指導案検討 2
- 12回 学習指導案検討 3
- 13回 学習指導案検討 4
- 14回 授業以外の音楽活動
- 15回 音楽科教育法 I のまとめと、音楽科教育法 II 履修に向けて準備すること

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業への参加意欲・態度（出席回数及びディスカッションにおける発言など）、学ぶ姿勢、授業内での小レポートの内容及び、学習指導案の内容を総合的に評価する。音楽科学習指導案作成に向ける積極的な取り組みやグループ協議への参加姿勢を評価する。模擬授業に真剣に取り組んだり、参加、観察したりしてより良い授業を求めようとする姿勢を評価する。

=テキスト（必携）=

《No. 1》

書籍名：中学校学習指導要領解説 音楽編

著書名：文部科学省

出版社：教育芸術社

販売先：教育芸術社

《No. 2》

書籍名：中学校の音楽 1、2・3上、2・3下、器楽

著書名：小原光一他

出版社：教育芸術社

販売先：教育芸術社

《No. 3》

書籍名：中学音楽 音楽のおくりもの1、2・3上、2・3下
中学器楽 音楽のおくりもの

著書名：三善 晃他

出版社：教育出版

販売先：教育出版

《No. 4》

書籍名：中学校・高等学校教職課程音楽科教育法

著書名：石澤眞紀夫

出版社：教育芸術社

販売先：教育芸術社